

地域イベントでの花育ワークショップ 親子「多肉植物のウェルカムボード」作り

作成者：花育アドバイザー 高野 恵聲
(花あそび 恵聲塾 主宰)

■ 対象者・人数：幼児～小学校高学年 親子20組

■ 所要時間：1回90分 ※1日2回

■ 対象場所：イベント会場内

※花・緑タウンフェア in 沼津「親子教室」にて開催

■ 指導者・アシスタント人数：

花育アドバイザー1名、アシスタント1～2名

協力：イベント主催者等スタッフ

■ 資材 ・はさみ

・えんぴつ

・油性フェルトペン（数色）

・割り箸

・竹串

・板（土台 縦18cm×横22cm程度）

・麻ヒモ

・ワイヤー

・土（多肉植物の土、粘着性のある土）

・ペーパーポット（針金などを通しやすく加工が楽にできる小さい植木鉢）

・ボンド（乾くと透明になる樹脂製・木工用）

・ホットボンド ※熱で溶けるボンドを工具で溶かし接着するボンド。



土（多肉植物の土）



ホットボンド

■ 花材や植物

・多肉植物1号サイズ 3個

・マツボックリ

・木の枝

・モス



多肉植物

【指導内容と目的】

- ・木材や枝・木の実などの自然素材を使って、「ウェルカムボード」を作成することで手作りの良さを感じることができ、経年変化に応じて素材の風合いを楽しむことができる。
- ・「ウェルカムボード」を作成し来客を迎えることで、おもてなしの気持ちを学ぶ。
- ・親子での共同作業を通じて、日常の生活とは異なる時間を共有しコミュニケーションを計る。
- ・親子で一つの物を作り上げる楽しさを味わう。

【対象者への配慮】

- ・自由な発想が出来るように見本はシンプルに作る。
- ・デザインする課程で、個性が発揮できるように使用目的を制約しない。
- ・ホットボンドを使用する際には、手や服などにボンドが付かないように気を付ける。火傷にも十分気を付けて、アシスタントが使い方を説明して作業を進めると良い。

1. 事前の準備

■ 主催者との確認事項

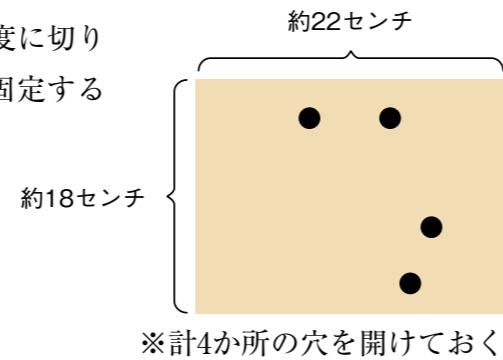
- ・参加者人数の確認
- ・遅刻者の対応について決めておく

■ 使用する資材の準備

資材は、予め一人分ずつに小分けにしておき、人数分と見本+予備の数量を用意する。

・板（ウェルカムボード土台）の下準備

土台となる板を、縦：約18センチ、横：約22センチ程度に切り
上部にヒモを通す穴を2ヶ所、右下にポットを針金で固定する
穴2か所を開けておく。



水性ペンキで、色を塗り乾かしておく。

※用途に応じて、板の大きさは変更できる。

※作業場などが確保出来ないときは、ホームセンター等で

購入するか木材のカットを依頼すると良い。

又は、100円ショップ等で販売している既成品の板を使用してもよい。

・ペーパーポット（再生ポット）の下準備

側面2か所に穴をあけて、補強用のテープを貼り
固定用のワイヤーを通しておく。

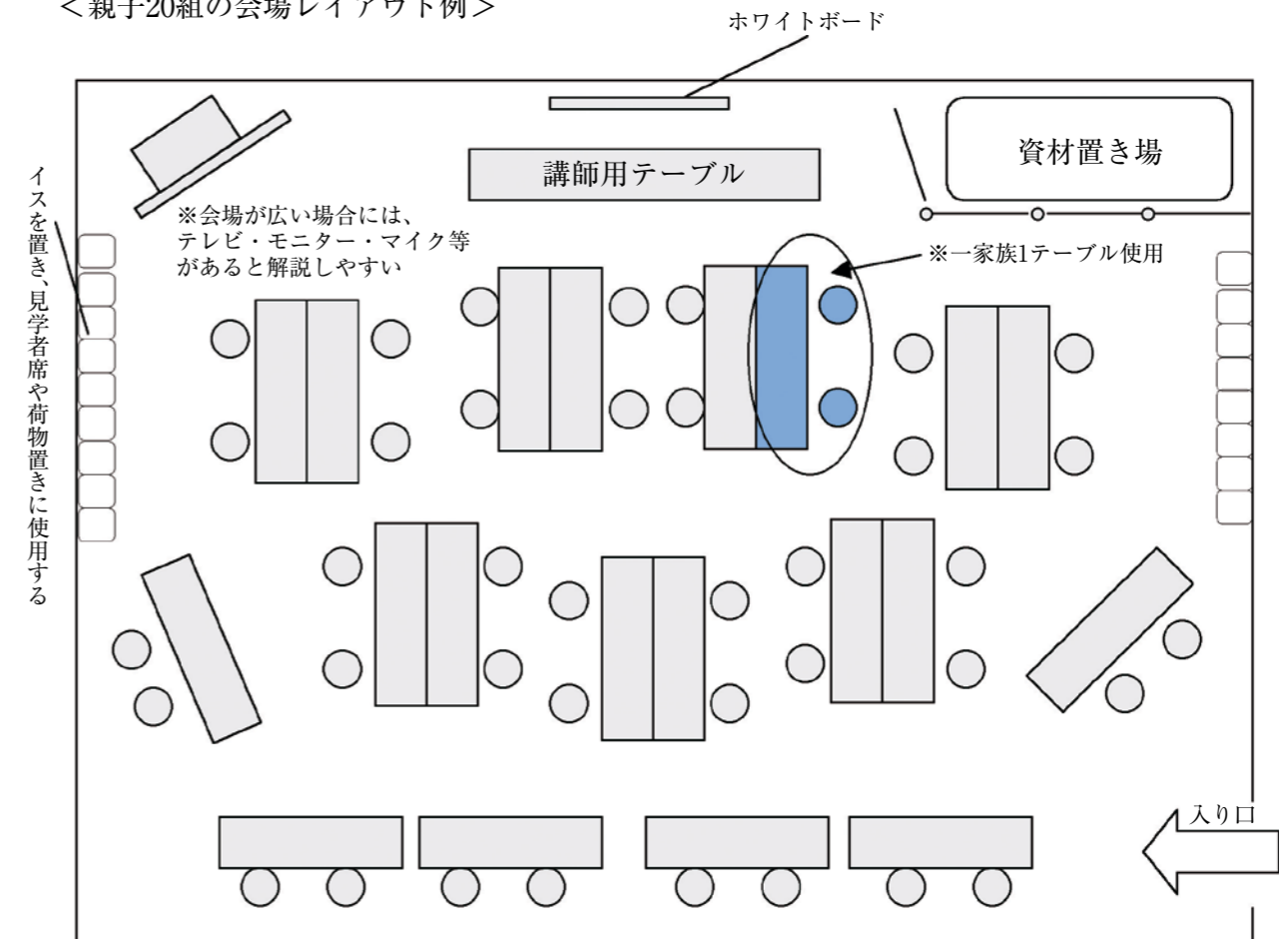


ペーパーポット（再生ポット）に
ワイヤーを通した状態

■ 当日の準備

- ・開始1時間ほど前に、講師・アシスタント集合
資材搬入後にミーティングを行い手順等の最終確認を行う。
- ・テーブル、イスなど参加者の人数に合わせて配置する。

<親子20組の会場レイアウト例>



- ・講師やアシスタントが、各テーブルをまわりやすいように通路を確保する。
- ・イベント等でワークショップを開催する場合は、参加者が初対面の場合が多いので和やかな雰囲気を作る工夫として、グループ形式にすると参加者同士が対面して会話がしやすくなる。
- ・空いた席やイス・テーブルなどを使い、家族などの見学席や参加者用の荷物置き場を作るとよい。

■ 資材の配布・セッティング

下準備が終わったら各テーブルに資材を用意する。テーブルが汚れないように、1人1枚古新聞を敷き、ウェルカムボードの材料を1人分ごとに並べる。



※小学校低学年が参加の場合は、ハサミなどは使用する直前にアシスタントが配布をして、使用後に回収すると怪我の危険が少ない。

2. 当日の流れ

・時間 (所要時間) 10:00~11:30

※終了の10分前には、全作業を終了してテーブル周りを片付ける。

■ 参加者の出欠確認

開始、30分程前から受付を開始する。

- ・参加者事前募集の場合は、参加者名簿で名前を確認する
- ・参加費 (500円) を受付で徴収する。
- ※釣り銭や領収書を用意



■ 具体的な手順

①講師・アシスタント挨拶・自己紹介

- ・講師やアシスタントが行っている花や緑の活動や花育活動についても紹介するとよい。
- ・花や植物のマメ知識などを織りまぜると植物に対する関心が深まる。



②ウェルカムボードの説明

レストランや店舗などの入り口付近に設置される「WELCOME」などと書かれたサインボードを「ウェルカムボード」と言う。

来客を迎え入れる為の誘導サインとして使用されている。

家に飾る場合は、玄関の入り口や庭に飾ることが多く名前を書いて表札にしても良い。

ウェルカムボードづくり

③ペーパーポットに多肉植物を植え込む。

ペーパーポットに土をいれて、ポットの内側に貼るように付ける。



〈多肉植物の説明〉

- ・茎、葉、果肉などに水分が多く含まれているので乾燥に強い植物。水やりが少なく手間がかからない為壁面の装飾などに向いている。
- ・さまざまな形や色があり種類も豊富な植物。

多肉植物をプラスチックのポットから出して、ペーパーポットに入れる。隙間に土を入れて固定する。

多肉植物の葉を汚さないように注意する。

多肉植物の葉の間に土が入ってしまったら竹串などで早めに取り除くこと。

葉に触ると折れやすいのでそっと触れる。

土の表面にモスを乗せ、U字にしたワイヤーでモスのうえから下に挿して留める。



※ワイヤーをUの字にしてピンを作りモスに挿して留める。

④ペーパーポットを板に固定する

右下の穴に、ペーパーポットのワイヤーを挿しこみ後ろに通し、ペンチでねじり固定する。



⑤木の枝やマツボックリをデザインする。

・板に「Welcome」などの言葉を書くスペースを空けて枝の配置をする。

木の枝は、好きな長さにはさみで切ってよい。

・板の上に自由にデザインをしてボンドで止める。

・ボンドを付ける位置にえんぴつで印を付けるとよい。

たっぷりとボンドを付けて木の枝やマツボックリを固定してしばらくさわらない。



※枝など太いものを留める場合には、ホットボンドで補助的に留めるとよい。



⑥手直し・講師やアシスタントに確認してもらう。
飾りの位置やワイヤーがしっかりと留まっているかなどを確認してもらう。
家に持ち帰った際に、設置場所から落下したり風で飾りが外れることが無いように十分に確認する。



⑦出来上がった作品の写真撮影・感想を書く
使用した素材や、植物の名前を記録したり出来上がった作品を写真に残すと家族の思い出になる。
家族や友人へのプレゼントとしても活用できる。



⑧後片付け
作品が出来上がったら、テーブルの周りのゴミやテーブルの下のゴミをまとめて道具を片付ける。

⑨今後の管理方法説明

- ・置き場所：屋外・室内
- ・水やり：日当たりのよい場所 月に2回程度
あまり日の当たらない場所 月に1回程度
※水を与えすぎると、徒長し間延びするので注意する。
- ・自然素材を使用しているので、雨ざらしにすると木の枝や板は劣化するが自然の風合いを楽しむことができる。
- ・多肉植物が枯れてしまったら、植え替えて楽しむことができる。

⑩感想の発表・終わりの挨拶

- ・作った作品は、みんなで鑑賞し工夫した点やアイデアを発表しあう。
- ・時間があれば子供、保護者それぞれの感想を発表してもらう。

■ 指導ポイント

- ・ペーパーポットを板に固定する際は、ペンチでしっかり止める。
- ・枝の配置で、大体のデザインが決まるので、ボンドで枝を固定する前にバランスを考えることをアドバイスする。

■ 所要時間や配分
開始60分前 集合・学校や主催者への挨拶・打合せ
スタッフミーティング・使用する資材や花材の確認

Time	所要時間
0分 (10分)	①参加者の着席を確認して、講師挨拶(講師・アシスタント自己紹介) 作業についての諸注意
10分 (15分)	②ウェルカムボードの説明
25分 (10分)	③ペーパーポットに多肉植物を植え込む ④ペーパーポットを板に固定する
35分 (20分)	⑤木の枝やマツボックリを使ってデザインを考える
55分 (10分)	⑥手直し、講師・アシスタントは、一人ずつ確認
65分 (10分)	⑦出来上がったら写真撮りや感想を書く 時間があれば感想を発表する
75分 (10分)	⑧片付け
85分 (5分)	⑨今後の管理について、説明する ⑩終わりの挨拶
90分	終了

30分 (30分) ⑪最終的な片付け、スタッフ・教師・主催者等終了ミーティング